

防災倉庫の設置を提案しませんか？

災害対策は地域のみんなで！

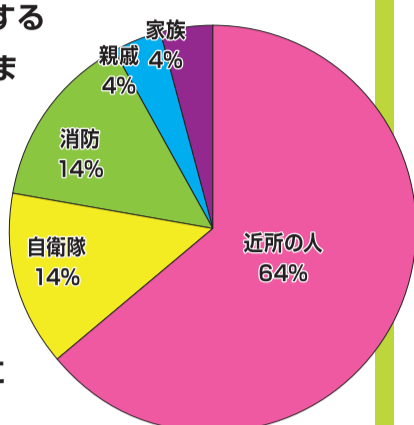
自主防災

大災害が発生した時、消防や警察などの防災機関が十分に対応できない場合があります。そのようなときに地域の協力体制が必要となってきます。

地域住民が積極的に救出・救助活動することで被害の拡大を防ぐことができます。また、災害発生後の避難生活が長引く場合、地域住民が助け合ってさまざまな困難を乗り越えることも必要でしょう。

自主防災組織を作り、住民の方に日頃から積極的に参加していただいて災害に備えましょう。

●人命救助をした人の内訳



自主防災組織の役割

- 防災知識の普及
- 防災点検
- 防災物資の整備
- 防災訓練
- 情報の収集
- 消火活動
- 避難誘導
- 救出・救護活動
- 避難場所の管理



防災倉庫とは

地域防災の備えとして、国や県・自治体・町内会等が管理しており様々な物資を保管する倉庫です。

設置場所は災害が発生したときに被害を受けにくい場所に設けられており、また、被害を受けない構造となっています。

日本では災害により、多くの人の命が失われた事もあり、全国各地で設置されております。関東から東海にかけての地域など大地震が予想される地域では、企業なども防災倉庫を設置されているところもあり、避難生活や救出・救助に必要な物資などを保管し、備えています。

保管物資の主なもの

- ヘルメット
- 毛布、軍手、タオル
- 消火器
- ポンプ
- ホース
- シャベル
- ツルハシ
- ハンマー
- 簡易トイレ
- ロープ
- リヤカー
- 非常食料
- 医薬品
- 救急救命器具
- 鍋
- 焔炉
- 給水タンク
- 発電機
- ライト
- ラジオ
- 燃料
- など



イナバ物置

防災倉庫のご提案!!

大災害から私たちの生命や財産を守る物資を確実に備蓄できるのが「防災倉庫」です。防災倉庫で地域防災力を向上させ、災害に備えましょう！



設置例



切り文字はオプションです
写真はFS色

| NXN-17S | | 床面積1.70㎡ |
|----------------------|------|---------------|
| W1,790×D1,090×H2,075 | 一般型 | ¥117,600 (税込) |
| | 多雪地型 | ¥14,700 (税込) |
| 標準組立費 | | ¥14,700 (税込) |
| ◆棚板4枚付き | | |



切り文字はオプションです
写真はPG色

| NXN-30S | | 床面積3.03㎡ |
|----------------------|------|---------------|
| W2,210×D1,370×H2,075 | 一般型 | ¥153,300 (税込) |
| | 多雪地型 | ¥154,350 (税込) |
| 標準組立費 | | ¥17,850 (税込) |
| ◆棚板4枚付き | | |

掛金 (オプション)

価格 ¥1,260 (税込)

◆皆さんで使えるよう掛金をご用意致しました。錠は市販品をご利用下さい。

◎標準組立費の中には、運賃、基礎工事費、転倒防止工事費、ブロック代は含まれていません。

防災対策販売例 ①

機種：NX-50H、17S × 約100棟

- 平成14年より、自主防災組織を結成した町会、自治会に対し、市より防災用資器材を支給される事となりました。
- その収納する物置として、耐久性のあるイナバ物置が利用されています。
- 市民の防災意識は高く、次々に防災組織を結成し、現在までに、約100棟を納めました。



防災対策販売例 ②

機種：SMK-120H、58H、90H × 約30棟

- 平成19年にこの地域に発生した震災により、防災用品を備蓄する為の補助金が各自治体に支給されることになりました。
- 断熱性、機密性に優れているナイソーが防災用品を備蓄するのに適している旨をPRしたところ、採用して頂く事となりました。

